

2012.09.26

「安倍新総裁誕生！ご支援有難うございました」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。本日は9月26日です。自民党総裁選挙があり、皆様のおかげで安倍総理が新しい自民党総裁として選ばれることになりました。私は安倍選対の推薦人の一人に名を連ねました。今までお話ししてきた通り、当初、私は安倍総理の立候補に反対でした。その理由は本来総裁として衆議院選挙を戦うべきであるということだからです。しかし、その後、三年間頑張ってこられた谷垣総裁が立候補しないという状況に変わりました。以来、私は微力ながら安倍総理を応援させていただきました。安倍総理が勝利した要因は色々あるのですが、一番大きいものは、時代が安倍晋三に日本のリーダーとして仕事をしろ、ということを求めたのだと思います。特に、今回のいわば「平成の中国の元寇」です。領土的野心の下に圧力が掛けられており、外交安全保障は大変な状況になっています。民主党政権が招いた国難が、今回の選挙結果につながったのだと思います。安倍総理が自民党総裁だけではなく、日本国の総理になるべく一刻も早く解散総選挙をしなければなりません。

一方で、安倍総理が政権を奪還した後こそが本当の正念場と私は考えています。時代が安倍総理を呼んだという事ですから、その使命は非常に大きいものです。もう一度強い日本、みんなが誇れる、素晴らしい日本を取り戻していかなければなりません。そのためには、まず自分の国は自分で守るということを

しなければなりません。中国への対応も毅然とした外交的対応はもちろんですが、単に外交だけでは解決できません。やはり安全保障を考えるうえで、自分の国は自分で守る、という当たり前のことを自民党自身がやらなければなりませんし、自民党が戦後 60 年の自民党政治の総決算をしなければならない、ということです。自民党自身が、自分の国は自分で守るという事を前面に出さず、アメリカとの日米同盟ということが一番の定理にしてきたのです。日米同盟は確かに外交上重要なことですが、戦後の占領体制の延長線上に自分たちの国を置いてきた、ということにもなるのです。今我々がしなければならないのは、その戦後レジームから脱却する、ということです。しかし、これこそ一番大きな問題であるのです。前回はマスコミ等が安倍総理の足を引っ張る報道がありました。今回ももちろん、そのような報道は出てくると思います。しかし、私達は正々堂々と、今こそ日本の国を立て直すために戦後の占領体制から抜け出さなければならないと主張しなければなりません。安倍総理にも総裁になられた直後に、私はお願いしました。次の新しい体制は、応援してきた側近だけではなく、挙党体制で日本を立て直すことが出来るものにしなければならない、ということです。

今回、色んな形で皆様にご支援を頂きました。あらためまして、このビデオレターを通じて感謝申し上げます。そして、皆様からのご支援をしっかりと受け止めまして、今後も政権奪還の為に微力ながら全力を尽くして頑張りたいと

思います。このことを誓いまして、本日のビデオレターを終わらせていただきたいと思います。本当にご支援を頂き、ありがとうございました。